



2021年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月15日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL http://www.euglena.jp/
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）出雲 充
 問合せ先責任者（役職名）取締役副社長（氏名）永田 暁彦（TEL）03(3454)4907
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年9月期第1四半期の連結業績（2020年10月1日～2020年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第1四半期	3,910	21.5	△365	—	△306	—	△360	—
2020年9月期第1四半期	3,219	△6.2	△244	—	△216	—	△252	—

（注）包括利益 2021年9月期第1四半期 △359百万円（－％） 2020年9月期第1四半期 △251百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第1四半期	△3.87	—
2020年9月期第1四半期	△2.72	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第1四半期	17,999	9,037	50.1
2020年9月期	15,351	9,386	61.0

（参考）自己資本 2021年9月期第1四半期 9,015百万円 2020年9月期 9,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	—	—	—	—
2021年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,200	14.1	—	—	—	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（参考）調整後EBITDA 2021年9月期 △630百万円（2020年9月期 △732百万円）

2021年9月期の業績予想は、売上高と調整後EBITDAの2つを公表致します。調整後EBITDAは、EBITDA（営業利益＋のれん償却費及び減価償却費）＋助成金収入＋株式関連報酬としています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期1Q	93,166,262株	2020年9月期	93,153,322株
② 期末自己株式数	2021年9月期1Q	56,459株	2020年9月期	56,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期1Q	93,097,988株	2020年9月期1Q	92,838,573株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度は、ヘルスケア事業においては、2020年9月期下半期において、厳格な採算管理を維持した上で、広告宣伝及び販促活動への投資を機動的かつ積極的に実施したことで純増に転じた定期顧客数からの商品購買による収益貢献により、セグメント売上高は増加を見込んでおります。また、エネルギー・環境事業においては、2018年10月に竣工したバイオジェット・ディーゼル燃料製造実証プラント（以下「実証プラント」）の本格稼働、そしてバイオジェット燃料による有償フライトの実現に向けた取組みにより、セグメント損益は赤字が継続する見込みです。以上の結果、当連結会計年度の通期業績予想は、売上高は前期比で増加を見込むものの、将来的に収益の柱となるエネルギー・環境事業を含む先端投資領域への先行投資を継続するため営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する純損益のいずれも赤字を見込んでおります。

当第1四半期連結累計期間は、概ね計画どおりの進捗であり、ヘルスケア事業において新規顧客獲得のための広告宣伝投資の見直しに着手した結果、売上高は3,910,679千円（前年同期比21.5%増）となりました。また、エネルギー・環境事業において2020年3月に本格稼働した実証プラントの運転費用の計上を主因として、同事業のセグメント損失159,126千円を計上しており、営業損失は365,530千円（前年同期は営業損失244,341千円）、経常損失は306,434千円（前年同期は経常損失216,393千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は360,398千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失252,537千円）となりました。また、調整後EBITDAは△129,388千円でした。

前第1四半期連結会計期間から当第1四半期連結会計期間までの各四半期の業績推移は以下のとおりです。

	前第1四半期 連結会計期間	前第2四半期 連結会計期間	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間
売上高（千円）	3,219,103	2,862,819	3,454,269	3,781,124	3,910,679
営業損益（千円）	△244,341	△115,791	△733,932	△713,654	△365,530
経常損益（千円）	△216,393	78,793	△684,446	△684,446	△306,434

セグメント別の状況については、以下のとおりです。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業においては、2020年9月期上半期に直販チャンネルにおける広告宣伝効率や有期間定期顧客割合の増加による定期購入継続率の改善が進んだこと、主力の健康食品ラインアップをユグレナ食品ブランド「からだにユグレナ」としてリニューアルしたこと、デジタルマーケティングや素材や商品の認知拡大に向けたマーケティング施策を展開する体制が整ったことを踏まえ、同下半期において、厳格な採算管理を維持した上で、広告宣伝及び販促活動への投資を機動的かつ積極的に実施し、持続的な事業拡大に向けた再成長を目指しております。

当第1四半期連結累計期間は、期初の計画どおり、2020年9月期下半期における積極的な広告宣伝及び販促活動への投資によって純増に転じた定期顧客数からの商品購買による収益貢献が実現しました。また、主力ブランドである「からだにユグレナ」についてはTVCMを展開するなど投資を強化する一方、その他のブランドについては投資をコントロールしながら収益を確保することで、ポータル全体で持続的な売上成長と利益成長の両立を図ってまいりました。

以上の結果、セグメント売上高3,906,230千円（前年同期比21.3%増）、セグメント利益は99,576千円（前年同期比42.0%減）となりました。

(エネルギー・環境事業)

エネルギー・環境事業においては、バイオジェット・ディーゼル燃料開発を中心に、2020年3月に本格稼働を開始した実証プラントによりバイオ燃料の実証研究、実証製造に取り組んでいます。研究開発活動については、2019年11月に、伊藤忠商事株式会社とともに、バイオ燃料用と飼料用の微細藻類ミドリムシの海外培養実証事業を、インドネシア共和国に続き、コロンビア共和国においても開始しました。また、2020年10月には国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「バイオジェット燃料生産技術開発事業／実証を通じたサプライチェーンモデルの構築、微細藻類基盤技術開発」に、当社が進めているバイオジェット燃料製造の実証事業および燃料用微細藻類の海外培養実証に関する研究開発が採択されました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、セグメント売上高4,449千円、実証プラントの本格稼働に向けた準備費用の計上等により、セグメント損失159,126千円（前年同期はセグメント損失170,672千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は17,999,765千円となり、前連結会計年度末と比較して2,648,667千円の増加となりました。

負債は、短期借入金増加等により、前連結会計年度末から2,997,587千円増加し、8,961,926千円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、前連結会計年度末から348,919千円減少し、9,037,839千円となりました。この結果、自己資本比率は50.1%となりました。

当社は2021年1月26日に株式会社Q-Partnersへの出資を行いました。2021年9月期の連結売上高は過去最高を計画しており、十分な手元資金を確保していることから事業の進捗に重要な影響はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期につきましては、ヘルスケア事業においては、当連結会計年度中に純増に転じた定期購入顧客からの商品購買に加えて、デジタルマーケティングやブランディングへの投資やマルチチャネル化に向けた取組みを強化することで売上高が増加し、連結売上高は過去最高となる見込みです。エネルギー・環境事業においては、実証プラントの本格稼働、ならびにバイオジェット燃料による有償フライトの実現に向けた取組みにより、セグメント損益は赤字が継続する見込みです。

以上の結果、売上高は過去最高の15,200百万円（前連結会計年度比14.1%増）、調整後EBITDAは△630百万円（前連結会計年度は△732百万円）となる見込みです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,253,900	8,849,097
受取手形及び売掛金	1,076,070	1,195,672
商品及び製品	805,920	961,041
仕掛品	44,636	68,728
原材料及び貯蔵品	949,842	837,909
その他	669,477	713,845
貸倒引当金	△8,292	△8,707
流動資産合計	9,791,554	12,617,587
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,068,137	3,058,018
機械装置及び運搬具	1,488,471	1,489,715
工具、器具及び備品	391,575	384,279
土地	900,520	900,520
リース資産	25,946	25,946
建設仮勘定	6,253	5,270
減価償却累計額	△2,576,423	△2,656,349
有形固定資産合計	3,304,480	3,207,401
無形固定資産		
のれん	961,239	923,412
その他	598,358	613,780
無形固定資産合計	1,559,597	1,537,193
投資その他の資産		
投資有価証券	319,946	298,597
差入保証金	283,979	285,729
繰延税金資産	8,291	1,298
その他	83,248	51,957
投資その他の資産合計	695,465	637,583
固定資産合計	5,559,543	5,382,178
資産合計	15,351,098	17,999,765

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	260,402	305,240
短期借入金	547,425	3,347,425
未払金	935,975	946,137
リース債務	291	243
未払法人税等	8,500	60,378
賞与引当金	28,800	15,300
ポイント引当金	22,200	17,281
資産除去債務	24,620	24,620
その他	332,185	327,539
流動負債合計	2,160,401	5,044,164
固定負債		
長期借入金	3,216,532	3,328,310
リース債務	24	—
退職給付に係る負債	19,839	19,704
資産除去債務	399,080	392,921
繰延税金負債	164,805	173,514
その他	3,656	3,312
固定負債合計	3,803,938	3,917,762
負債合計	5,964,339	8,961,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,323,548	7,328,859
資本剰余金	2,229,643	2,234,955
利益剰余金	△84,993	△445,391
自己株式	△94,737	△94,737
株主資本合計	9,373,460	9,023,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,802	△2,121
為替換算調整勘定	△8,227	△5,920
その他の包括利益累計額合計	△10,029	△8,042
新株予約権	13,556	13,523
非支配株主持分	9,771	8,671
純資産合計	9,386,758	9,037,839
負債純資産合計	15,351,098	17,999,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
売上高	3,219,103	3,910,679
売上原価	877,542	1,055,617
売上総利益	2,341,560	2,855,061
販売費及び一般管理費	2,585,902	3,220,592
営業損失(△)	△244,341	△365,530
営業外収益		
受取利息	53	43
為替差益	3,507	—
助成金収入	29,790	48,596
受取手数料	7,000	750
保険解約返戻金	—	24,504
その他	8,958	14,179
営業外収益合計	49,309	88,074
営業外費用		
支払利息	3,211	5,666
為替差損	—	607
持分法による投資損失	18,149	22,374
その他	0	330
営業外費用合計	21,361	28,978
経常損失(△)	△216,393	△306,434
特別利益		
新株予約権戻入益	—	32
特別利益合計	—	32
特別損失		
固定資産売却損	0	98
特別損失合計	0	98
税金等調整前四半期純損失(△)	△216,393	△306,500
法人税、住民税及び事業税	117,327	41,110
法人税等調整額	△82,363	15,859
法人税等合計	34,963	56,969
四半期純損失(△)	△251,357	△363,470
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,179	△3,071
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△252,537	△360,398

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△251,357	△363,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	190	△318
為替換算調整勘定	△994	4,215
持分法適用会社に対する持分相当額	916	62
その他の包括利益合計	112	3,959
四半期包括利益	△251,245	△359,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△251,741	△358,410
非支配株主に係る四半期包括利益	495	△1,100

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,219,103	—	3,219,103	—	3,219,103
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,219,103	—	3,219,103	—	3,219,103
セグメント利益又は損失(△)	171,565	△170,672	893	△245,235	△244,341

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△245,235千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ヘルスケア事業	エネルギー・ 環境事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,906,230	4,449	3,910,679	—	3,910,679
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,906,230	4,449	3,910,679	—	3,910,679
セグメント利益又は損失(△)	99,576	△159,126	△59,550	△305,979	△365,530

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△305,979千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。